

令和4年3月15日

発 言 者	発 言 要 旨
木村委員	繰越をする理由が世界的な半導体不足による2度の入札不調だそうだが、他の県有施設において同様の理由で繰り越す事例はあるのか。
管財課長	管財課、総合支庁が所管する他の公所の指定修繕は年度内に終了する予定である。
木村委員	この事業はトイレを改修するものだが、半導体を使用する箇所があるのか。
管財課長	トイレを洋式化するもので、自動洗浄機能ウォシュレットなどに半導体を使用される。
鈴木副委員長	今後の工事の見通しはどうか。
管財課長	<p>置賜総合支庁で情報を収集したところ、部品の価格が高騰しており想定した予算では間に合わないこと、年度内の部品の納入が困難ということであった。予算については2月補正で増額したので十二分に対応できるものと考えている。</p> <p>部品の納入については、引き続き供給が厳しい状況であり、早期の発注に努める。なお、工事自体は約3か月程度で終了するので、繰越を認めていただければ来年度中に完了できると考えている。</p>
鈴木副委員長	2月補正ではどの程度増額したのか。
管財課長	191万円増額した。